

全被害者を被爆者に！

被爆地域拡大協議会定期総会開催

毎日新聞 6/12 付→
 長崎被爆地域拡大協議会の定期総会が開催されました。被爆80年、今年こそ全ての原爆被害者を被爆者と認めさせるために頑張りぬくことを確認しました。



山本誠一 事務局長

「被爆者と認めるべき」
 体験者の「雨証言」を再検証
 拡大協議会

長崎原爆の被爆体験者らでつくる「長崎被爆地域拡大協議会」は11日、長崎市で定期総会を開いた。県民主医療機関連合会（長崎市民連）の松延栄治事務局長が講演し、2012〜13年に被爆体験者193人などを実施した証言調査の結果を再検証したところ、原爆投下後に17人が降雨を体験し、54人が灰や燃えかすに遭ったと証言していたと報告した。

雨の証言は「黒い雨が降った」「1時間後に突然の雨、手拭いが濡った」など。灰や燃えかす、焦げた紙や灰、燃えた製菓所の紙切れ、「川が灰で真っ黒になった。野菜も何もかも覆いつくされた」などがあった。

また、58人が原爆投下後に長崎市内に入ると証言し、被爆者の救護を経験した人は30人いた。入市、救護の被爆者健康手帳の交付を申請したが却下された人や、証人がいなかったり差別を恐れたたりして申請しなかった人が多数含まれていた。

国は広島原爆の黒い雨体験者を被爆者と認める一方、「長崎では原爆投下後に雨が降った客観的な記録がない」として被爆体験者を被爆者と認めていない。松延さんは検証結果を踏まえ、「国は被爆体験者を被爆者と認めさせるため、被爆体験者の証言記録や、島原半島など爆心地から12キロ以上を含めた地域での放射性降下物の影響の解明に取り組んでいく方針を確認した。」

定期総会には約30人が参加。国に被爆体験者を被爆者と認めさせるため、被爆体験者の証言記録や、島原半島など爆心地から12キロ以上を含めた地域での放射性降下物の影響の解明に取り組んでいく方針を確認した。

【樋口岳大】



講演する長崎市民連の松延栄治さん
 長崎市で

TOPICS

平和メッセージ募集！！

大浦折り鶴タワー1階へ

6/13 一般研修大塚氏証言

6/14 事務部会総会
 長野氏 被爆証言

今週の署名カウンター(6/17現在)

05857

筆

先週は90筆の署名が集約されました。友の会から76筆、ピースチャレンジは3件の応募・内2件が介護事業部からでした。6000筆まで143筆です。

6/15 平和委員会総会